和光市午王山遺跡保存活用計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 午王山遺跡保存活用計画（以下「計画」という。）の策定について必要な事項を検討するため、和光市午王山遺跡保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、その結果を和光市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

- (1) 国史跡午王山遺跡の保存、整備及び活用に関すること。
- (2) その他教育長が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員14人以内で組織し、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者 4人以内
- (2) 和光市文化財保護委員会委員 1人
- (3) 午王山遺跡の地権者を代表する者 2人以内
- (4) 地域関係者 2人以内
- (5) 公募による市民 2人以内
- (6) 国又は地方公共団体の公務に従事している者 3人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、教育長が委嘱した日から第2条の規定による報告があった日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、会議への出席、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この告示は、公布の日から施行する。

2 この告示は、第2条の規定による報告があった日限り、その効力を失う。